

セキュリティリテラシーとしての情報センスに関する調査

木川明彦*1

Email: akihiko913@yahoo.co.jp

*1: 宮城大学大学院事業構想学研究科 博士後期課程

◎Key Words キーワードリテラシー／情報センス／汎用的能力

1. はじめに

今日、情報セキュリティに関する能力は社会人として身につけておかなければならない必須のスキルの一つとなっている。一般的に情報セキュリティとは「想定される脅威から自己の情報を保護するために必要な対策を講じること」であるが、その運用といった視点で見れば、何か限定的な技術のみを示すものでなく、従事する業務において、全ての者が「可能な限り解決または解決の方向性に推し進められるだけの汎用的な能力」を意味しているように感じられる。実際、平成28年度からIPAが実施している「情報セキュリティマネジメント試験」¹は、ITを利活用する全ての者を対象に、情報セキュリティマネジメントを担う人材育成を推進していくため実施されているものであり、情報セキュリティに関する実務を担当技術者のみのこととして扱わず、ユーザーサイドも踏み込んだ学習が必要であるということを示唆している。

従って、本稿では、大学生に対するアンケートを実施し、情報セキュリティと企業活動といった視点から、それに関連する知識に対する意識調査を実施した。具体的には、リテラシー育成の基盤となりえる項目を整理し、充実している部分、不足している部分を明らかにする。なお、報告目的として、情報セキュリティ教育の質向上に資するものとする。

2. アンケートの実施

この調査は、東京都内に大学に在籍する大学生を対象に、「情報セキュリティに関連した能力・教育の内容に関する調査」という名目でアンケートを行った。

2.1 アンケート概要

アンケートは、全23項目である。大きく「リーガルセンスに関して」10項目、「マネジメントセンス

に関して」8項目、「ストラテジセンスに関して」5項目に分類される。実施方法は、Google フォームを利用し、匿名回答で実施した。

なお、本稿では、主要な「法律に関連した分野」と「マネジメントに関連した分野」のみ記載する。

また、調査対象および調査期間であるが、東京都内に所在地を有する大学3校に調査協力をいただいた。実施期間は2018年6月中であり、回答者の属性は全て文系学部の大学一年生であり、対象者数は179名である。

3. リーガルセンスに関する項目

本章では情報セキュリティ教育に関する「法律・法令」に関する興味関心に関して整理する。

まず「情報セキュリティの分野で“法律”を学ぶ必要があると思いますか」という問いに対しては、「思う」と答えたものが152名(84.9%)であり、思わないといったものが29名(16.2%)であった。その理由として挙げられるものが以下のものとなる。

① “思う”と答えた理由は何故ですか? <n=152>

漠然とそのように感じたため(22.9%)
法律に興味があるため(7.8%)
法律の基本的な考えを理解するため(15.7%)
いざという時に適切な判断ができるようになるため (48.4%)
自身が法律を犯さないようにするため(36.6%)

②上記の質問で“思わない”と答えた方に質問です。その理由は何故ですか? <n=31>

漠然とそのように感じたため 17(54.8%)
法律に興味がないため 8(25.8%)
情報セキュリティと法の関係性が理解できないため 6(19.4%)
自身が法律を犯すことはあり得ないため 3(9.7%)
法律など知らなくても適切な判断が出来ると思えるため 1 (3.2%)

③情報セキュリティ分野において求められるリーガルセンスとはなんだと考えますか? <n=179>

法律の名称が分かっていること 20(11.2%)
法律の名称を理解し、かつ、その法律の主旨を理解しているこ

¹IPA 「<https://www.jitec.ipa.go.jp/sg/about.html>」

情報セキュリティに関する経営課題を「技術面の対策」の視点だけではなく、「人による管理面の対策」の視点からも捉え、その能力開発・啓発活動を実施している。

と 86(48%)
法律に準拠し、運用していけること 35(19.6%)
問題が生じた時、何かしらの法令に違反している可能性がある と、注意できること 33 (18.4%)
問題が生じた時、自身で、具体的にどの法令に違反しているか 判断できること 39 (21.8%)

4. マネジメントセンスに関する項目

本章では情報セキュリティ教育に関する「マネジメント・企業活動」に関する興味関心に関して整理する。まず、情報セキュリティ分野において“マネジメント(組織運営)”を学ぶ必要はあると考えますかという問いに対して、「思う」と答えたものが 130 名(72.6%)であり、「思わない」と答えたものが 50 名 (27.4%)であった。その理由として挙げられるものが以下のものとなる。

①上記の質問で“思う”と答えた理由は何故ですか？
<n=131>

漠然とそう感じたため 56(42.7%)
マネジメントに興味があるため 16 (12.2%)
組織論の基本的な考え方を理解するため 27(20.6%)
情報セキュリティは組織として取り組むべきものと考え ため 32 (24.4%)
企業内活動を円滑に作用させることは重要と考えるため 20(15.3%)

②上記の質問で“思わない”と答えた理由は何故
ですか？<n=53>

漠然とそう感じたため 27 (50.9%)
マネジメントに興味がないため 18 (34%)
情報セキュリティとマネジメントの関係性が理解できな いため 10(18.9%)
個人で情報セキュリティに取り組めばよいと考えるため 4 (7.5%)
自身は言われた通りにするので問題ないと考えるため 5(9.4%)

③情報セキュリティ分野において求められるマネジ
メントセンスとはなんだと考えますか？<n=179>

組織の役割が分かっていること 55(30.7%)
組織の役割を理解し、解決にむけて全体として行動できること 57(31.8%)
組織の役割を理解し、企業活動を円滑に運営できること 65(36.3%)
組織の役割を理解し、事情を判断したうえで、事業計画を立案 できること 29 (16.2%)
わかりません 1 (0.6%)

5. 全体を通じた質問項目

①あなたが求める“情報社会に求める情報セキュ
リティセンス”とは何ですか？<n=179>

セキュリティ上の課題にいち早く気づけること 74(41.3%)
コンプライアンスに準拠し、運用できること 46 (25.7%)

組織として解決にむけ行動できること 40(22.3%)
限られた資源を有効に利用できること 21(11.7%)
情報セキュリティ対策を企業経営に生かせること 34(19%)
脅威を見定め、それに備えることができること 35(19.6%)
情報の収集や分析、利用が適切にできること 41(22.9%)
特くない 1(0.6%)
その他 2(1.2%)

6. 考察

本稿では、情報セキュリティ教育において、どの
ように学習者に当事者意識を抱かせるかという視点
でアンケートを実施した。対象は未学習者である大
学一年生であり、ポジティブな回答は期待していな
かったが、法律・法令の分野においてはポジティブ
な回答が多く見られた。しかし、マネジメントや企
業活動に関連した項目では、ポジティブな回答が得
られなかったという結果となった。学生生活におい
て、情報セキュリティと企業活動のイメージが一致
していないことが考えられるが、興味関心が低く、
その要因を考察する必要があるように感じられた。

7. おわりに

本稿では、整理できていない部分が多々あり、細
かい分析、説明は大会で補わせていただきたいと考
える。また、今回の調査結果を一般化・標準化する
には、まだ考察が出来ていない部分が多く、筆者の
研究不足を反省するところである。今後も研究課題
として、本稿を締めるものとする。

今後も微力ながら、情報セキュリティ教育、情報
教育に関する研究に一石を投じていきたいと考える
所存である。

主要参考文献

- (1) (編)関西大学社会安全学部『事故防止のための社会安全学
—防災と被害軽減につなげる分析と提言—』(2013, 関西
大学)
- (2) 佐藤謙二「IT リテラシー教育の一環としての情報セキュ
リティ教育の要件について」『国土館大学紀要情報科学第
37号』(7-17p, 2016)